

**沖繩・広島・長崎 平和礼拝**  
 広島平和礼拝実行委員会委員長 司祭 永野拓也

今年はそのそれぞれの日に対面でのプログラムが開催されました。



2023沖縄週間/沖縄の旅

「2023沖縄週間/沖縄の旅」は、6月23日(金)〜25日(日)に開催されました。平和祈念公園内の「平和の礎」、「平和祈念資料館」、「南部戦跡巡り」等のフィールドトリップ、そして三原聖ペテロ・聖パウロ教会で主日礼拝へ出席し、参加者が祈りの時を持ちました。

「沖繩教区慰霊の日礼拝」

は、6月25日午後3時より、北谷諸魂教会において、教区慰霊の日礼拝が行われました。

今年、戦艦大和に乗船し沖繩に向かう途中に撃沈された犠牲となった広島県出身の296名を含む365名が平和の礎に追加刻銘され、その方々の名前を読み上げ魂の平安を祈った。(沖繩教区報より)



沖繩教区慰霊の日礼拝

「広島平和礼拝2023」

は、8月5日(土)・6日(日)

広島平和礼拝2023



に開催されました。

八幡照子さんによる被爆証言、カトリック教会との合同の「平和のための祈りの集い」、広島原爆逝去者記念聖餐式等が行われました。

長崎原爆記念礼拝



「長崎原爆記念礼拝」は、8月9日(水)に行われました。当初、聖餐式後に被爆証言を拝聴する予定でしたが、台風のため変更され、YouTubeで公開されている築城昭平さんの被爆証言を、視聴させていただきました。

私は、広島と長崎で礼拝に出席することができましたが、改めて感じたのが、実際に現地に赴くことの大切さでした。何故そのように感じたかというところ、広島平和礼拝に参加してくださった関係学校の生徒さんが書いた感想を読んだからです。事前学習も含めて、8月6日のために準備をしてくださった生徒さんたちが、実際に広島にきて何を感じたのか、感想を読ませていただくと、率直で誠実な言葉が溢れていました。どれも素晴らしい感想でしたが、その中に「実際に被爆証言を聞くことや、原爆ドームを見ること」によって、戦争や原爆の悲惨さを学ぶことができたという感想があったからです。教科

書やインターネットでも知識は学ぶことができますが、実際に被爆者の方から話を聞き、たくさんの方が亡くなった平和記念公園等に赴くことで、心に刻まれることがあるように感じました。

また、昨年からステパノ深井渙二司祭のことを、原爆逝去者としてお祈りさせていただいていることを紹介させていただきました。深井司祭は、復活教会の前身、降臨教会の最後の牧師としてお働きになり、原爆で逝去されたと言われています。一昨年、大江真道先生の『原爆のなかに消えた牧師』という論文の存在を知らせてくださった信徒さんがおり、広島平和礼拝実行委員会と協議した結果、深井司祭を代禱に加えることとなりました。未だ名前を読み上げることのできていない多くの原爆逝去者がいることも覚えながら、原爆で亡くなったすべての方の魂の平安をお祈りすることができました。